

山田さん、谷口さんが入賞

有明高専から4年連続
試作の部では初の快挙

設計器増幅回路
コンテスト演算

大牟田市東萩尾町の有明工業高等専門学校(福

島健郎校長)電気工学科四年の山田教太さん(18)

、大牟田市浄真町IIと電子情報工学科四年の谷口

幹(もとき)さん(19)、玉名郡長洲町腹赤IIは

平成二十六年度演算増幅器設計コンテスト試作の

部に初挑戦し、入賞を果たした。【写真】

同コンテストは応用科学と試作の部があり、全国の学会主催。アナログ集積回路設計者の登竜門的存在で、シミュレーションの部

京工業大学大岡山キャンパスで表彰式が行われた。

山田さんは試作の部敢闘

賞、谷口さんは同部努力賞

を受賞した。入賞者のほと

んどは研究が進んでいる大

学・大学院の学生で、今

年、高専から入賞したのは

有明高専生のみ。五回目四

年連続の快挙となったが、

試作の部での入賞は全国の

高専でも初めて。

試作の部は各自が設計した演算増幅回路を実際に集積回路として実現し、その特性を競う部門。「まったく知識のない状態からスタートしたので、設計に関する基礎知識を身に付ける段階は大変でしたが、設計していく中できれいに回路が作れると、うれしかったです」と谷口さん。山田さんも「非常に時間がかかり、ゴールデンウィークも一日も休めませんでした。一番忙しい時期は部活にも出られなかった」と苦労を振り返る。

入賞という結果を受け、「全然予想していなくてびっくり。うれしかったです」と一人。「せっかくなので、これからも勉強を続けて、次回ももっと上の賞を目指したい」と意気込みを新たにしていた。

(河野 美緒)

